

流出し全線運休となり、通院や通学に利用している住民生活に支障を及ぼす事態となりました。

1月13日から一部バス代行による輸送が開始されていますが不便な状態は解消されておりません。また、春には観光シーズンを迎えることから関係者の不安が日増しに大きくなる中、日高町村会及び日高総合開発期成会として、JR北海道に対して「JR日高線の早期全面復旧に関する緊急要望」を2月25日に行っています。

当町といたしましては、日高管内全体に及ぶ問題でありますので、今後も日高町村会及び日高総合開発期成会を主体として、早期の全面復旧に向けて活動して参りたいと考えておりますので、ご理解くださるようお願い申し上げます。



日高線の運休に伴う代行バスの運行

**新冠町戦没者慰霊祭の主催について**  
新冠町戦没者慰霊祭については、主催者であります新冠町遺族会から会員

の高齢化に加え、会員が減少しており、主催することが難しくなっていることから、平成27年度からは、町が主催し開催することといたしましたので、報告申し上げます。

**新ひだか町立静内病院「婦人科」の状況について**

平成26年5月1日から新ひだか町と共同運営しております町立静内病院婦人科の状況について報告申し上げます。

まず、婦人科の診療体制と診療内容であります。常勤医師1名、助産師並びに看護師それぞれ1名の計3名体制で、毎週火、水、木曜日を常勤医師による診療と金曜日を助産師による予約制の助産師外来により、妊娠32週までの定期健診のほか、婦人科一般診療と子宮ガン検診など行っております。婦人科全体の受診者数は当初計画しておりました延べ2100名を上回る延べ3191名の受診となっております。

なお、新冠町民の状況ですが、妊婦健診67名、子宮ガン検診8名、さらに、4Dエコー検査7名の、合わせて延べ82名となっております。

**農業支援員の就業状況について**

地域おこし協力隊・農業支援員事業は、事業開始から、これまで3名の方が農業支援員を卒業されました。

1名の方は、里平地区でピーマン栽培を主体とする野菜農家として独立就業され、営農初年度を無事終えられたところでございます。

また、2名の方については将来の独



昨年新規就農した農業支援員卒業生

立に向けて、町内の農業生産法人等に雇用就業され、農業技術の取得に日々ご努力されているところでございます。このうち1名については本年夏頃から独立就業の準備に入る予定になっております。

平成27年度事業に向けまして、新たに2名の支援員を募集しております。が、応募件数が少なく、1名のみ採用を決定している状況です。これに3年目となる支援員2名、2年目1名を加えた5名の体制で新年度を迎える予定でございますが、募集については引き続き行い、人員の確保に努めてまいります。

本制度は事業開始から丸4年となり、平成27年度末には3期生が研修を修了いたします。これまでも見直しを加えながら制度を運用してまいりましたが、改めて制度全般の検証を行い、充実した担い手対策となるよう努めて行



新冠町和牛センター

くことといたします。

**新冠町和牛センターの運営状況について**  
当センターにつきましては、平成24年4月から施設を稼働し、平成25年12月以降は施設の収容定数を満たす76頭で運用を続けております。

オーブンからこれまでに新冠町和牛生産改良組合に所属する生産者の67%にあたる24戸に利用され、2月末現在で50頭の一般出荷を終えております。

出荷した枝肉成績は、5等級率が82%、4等級を含む上物率では100%の成績を継続しており、このうち5頭は最高級の肉質を示す脂肪交雑No.12番の評価を受けております。

今後につきましても、センターでの衛生管理や預託牛の観察の徹底を図りながら、育種価データを活用した迅速な和牛改良に努め、素牛産地としての定着と生産者の所得向上に努めてまいりますことといたします。

# 教育長行政報告

**学校教育の推進について**

「教育委員会委員の活動」についてであります。本年度より、教育委員研修に加え1月に2回の自主的な研修を行い、また、1月15日には町内の各小中学校PTA会長との今年度第2回目となる教育懇談を行い、学力、体力の向上に向けた家庭での取組について懇談をしております。2月3日・6日には、第2回目となります学校訪問を行いました。

次に、新冠中学校卒業生進路希望状況と平成27年度学級編制についてであります。進路希望者には47名で就職希望者についてはおりません。なお、3月4日・5日に公立高校の学力検査が行われ、合格発表は3月17日の予定となっております。次に学級編制についてですが、次年度の児童数は、小学校全体で307名となり前年度より2名の減、中学校の生徒数は157名で6名の増となります。

豊かな心身の育成については、先日、平成26年度全国体力・運動能力運動習慣等調査の北海道版結果報告書が配付され、当町の小学校における調査結果では、全国的に北海道、全国平均とあまり差異の無い状況でありました。詳細につきましては、2月に発行いたしました教育委員会だより第6号に掲載しております。

三つ目は、体罰に係る実態調査についてです。全国の小中学校を対象にした体罰の状況について実態調査が実施されております。その調査から2件の事実がありました。指導の範囲内であったことから、実態が無かった旨報告しておりますが、現在、継続調査を進めているところであります。

大きな4点目、教師の指導力と信頼される学校づくりについて、教育の情報化環境整備の充実と活用を図る目的により本年度から立ち上げましたICT委員会の第3回目を開催し、また、町内の児童、生徒の体力向上を目的とした体力向上委員会を第3回目の委員会を開催いたしました。調査結果を分析し、向上に向けた取組について協議をしております。

次に、本年度から実施しております各種検定料助成金補助事業ですが、児童、生徒、保護者からの関心が高く、漢字検定、英語検定、あわせて76件の申し込みがありました。今後も学力向上を図る目的により、広く周知していきたく考えているところであります。

**認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について**

認定こども園ド・レ・ミでは、家庭・地域と一体となって開かれた園づくりを目指し取り組んでおりますが、「ミニミニ発表会」を2月13日に実施しております。また、フリー参観日と個人懇談の実施により、地域に開かれた園づく

くりと、ひとり一人の保護者への子育て支援に努めています。幼小連携の取組については、2月13日に新冠小学校1年生の生活科授業の一環として実施された幼小連携事業、「わくわく祭り」に年長児44名が参加し、4月からの就学に向け、良い交流の場となりました。

**社会教育の推進について**

1点目は「レ・コード館の活動」であります。例年当町で冬季合宿を実施している札幌白石高校吹奏楽部が、1月14日に町民選元の取組みとして「ニューイヤークンサート」を実施しております。また、2月20日には昭和音楽大学とのパートナーシップ事業として、声楽コンサートを開催いたしました。



札幌白石高校吹奏楽部合同演奏会

2点目に「社会教育に係る取組」についてであります。高齢者教育として実施しております「いきいき大学」は2月26日に本年度、全7回の日程を終え、修了式を開催致しました。

3点目に「青少年に係る取組」につ



新冠町少年国内研修交流事業

早速、事後研修を行い、2月26日には、研修成果の発表の場として報告会を開催いたしました。また、1月11日には、新冠町成人式を挙行し、47名の新成人が大人の仲間入りをしております。さらに、2月21日からは、第2回目のつうがく合宿を開催いたしました。

4点目に「郷土資料館の取組」についてであります。3月1日に「幌尻岳の雄大な自然」をテーマとした研修会を開催致しました。

5点目に「図書ラザの取組」についてであります。1月11日、レ・コード館において、森みつ少年少女文芸賞表彰式を行い、審査の結果、文芸賞7作品、特別賞5作品を表彰しております。《全文につきましては後日発行いたします「教育委員会だより」に掲載いたします。》